

視線入力もできる 意思伝達装置(ミヤスク・オリヒメ)を導入しました！

難病生きがいサポートセンターでは、難病の方のコミュニケーション支援について相談に乗り、機器の貸し出しも行っています。最近では、ALSの方が視線で入力できるタイプの機器を使ってみえる姿をテレビなどで見かけることが多くなり、そのようなタイプのもを使ってみたいという問い合わせが増えてきました。そこで、視線入力もできる「ミヤスク・オリヒメ」を新たに貸し出し機器として導入しました。現在すでに予約が数名入っていますが、コミュニケーションでお困りの方はまずはご相談ください。



相談員がミヤスク・オリヒメの使い方の講習を受けました。

「難病コミュニケーション支援機器の貸し出し」ご案内

1. 貸し出しの対象者・岐阜県在住の難病患者さん、またはそのご家族
2. 貸し出し機器・透明文字盤、ペチャラ、レンツチャット、伝の心、オパナビ、ミヤスク・オリヒメ
3. 貸し出し費用・原則無料
4. 貸し出し期間・2週間～1ヶ月
5. 機器の運搬・原則、借用される患者さんまたはそのご家族の方での運搬。
6. 申込み方法・難病生きがいサポートセンター(電話 058-214-8733)へご連絡ください。

※より詳しい情報は、ホームページ(<http://www.gifunanbyo.org/>)をご覧ください。